

第 16 回 長崎都市経営戦略推進会議

平成 24 年 6 月 19 日 (火)

10:00~12:00 商工会議所

議 題 等	資 料												
1. 議長挨拶													
2. 議題													
(1) 第 5 回長崎サミット共同コミュニケ (案)	資料 1												
(2) インバウンドにかかるまちづくり特別委員会	資料 2												
(3) その他 (報告等)													
・ 資金支援協議会への会員加入依頼状	資料 3												
・ 推進会議等のメンバー異動	資料 4												
3. 今後のスケジュール (予定)													
<table border="1"><thead><tr><th>日 程</th><th>会 議</th><th>内 容</th></tr></thead><tbody><tr><td>7 月 11 日 (水)</td><td>第 17 回推進会議</td><td>・ 共同コミュニケ</td></tr><tr><td>7 月 26 日 (木)</td><td>第 18 回推進会議</td><td>・ サミットの運営 等</td></tr><tr><td>8 月 1 日 (水)</td><td>第 5 回長崎サミット</td><td></td></tr></tbody></table>	日 程	会 議	内 容	7 月 11 日 (水)	第 17 回推進会議	・ 共同コミュニケ	7 月 26 日 (木)	第 18 回推進会議	・ サミットの運営 等	8 月 1 日 (水)	第 5 回長崎サミット		
日 程	会 議	内 容											
7 月 11 日 (水)	第 17 回推進会議	・ 共同コミュニケ											
7 月 26 日 (木)	第 18 回推進会議	・ サミットの運営 等											
8 月 1 日 (水)	第 5 回長崎サミット												
4. 副議長挨拶													

平成 24 年 8 月 1 日

第 5 回長崎サミット・共同コミュニケ（叩き台）

上田 恵三	長崎商工会議所会頭	中村 法道	長崎県知事
宮脇 雅俊	長崎経済同友会代表幹事	田上 富久	長崎市長
橋本 州史	長崎県経営者協会会長	片峰 茂	長崎大学学長
原口 誠	長崎青年会議所理事長		

本プロジェクトが産学官連携で具体的活動を開始して 3 年余が経過し、プロジェクトの中心的推進機能を持つ長崎サミットが発足して今回が丁度 2 年である。この間、関係者間の連携・協調の動きも高まり、いくつかの具体的成果も得た。

本プロジェクトは第 1 ステージの体制づくりを経て、現在「経済基盤を作り上げる」第 2 ステージの中間時点、非常に重要な時期にある。掲げた戦略・重点施策が地域経済の数値向上に結びつく活動へと更に発展させる。

【この 6 ヶ月間（第 2 ステージ第 2 ラウンド）の主な前進事例】

- ◇客船受注の決定（2011 年）と港湾整備等受入体制づくり・受注体制づくり
- ◇新幹線西九州ルート着工への活動と着工方針決定
- ◇長崎上海航路の実現、日本海側拠点港指定
- ◇観光関連の受入体制充実活動の進展
- ◇観光 10 年プロジェクトの具体化策づくり
- ◇コンベンション施設整備実現への活動
- ◇留学生支援センター設置実現への活動

更新 未済
(第 4 回サミットでの事例)

1. 分担と協調

組成団体及び関係団体等関係者の連携および積極的な活動により、プロジェクトは前進している。更に次の 2 点により推進力を高め、スピードアップする。

- ・具体的活動における、関係者での分担の更なる明確化
関係団体事業との分担・連携強化がポイント
- ・その際の数値目標の協議と設定

2. インバウンド対策の強化

当地域においては、大型客船受注、長崎上海航路開設、クルーズ客船拠点化、日本海側拠点港指定、新幹線西九州ルート諫早・長崎間着工方針決定、県・市庁舎建設等の進捗状況に鑑み、第4回（前回）長崎サミットにおいてこうした動きを地域経済の向上につなげるべく活動を展開することが確認された。

この確認（方針）に基づいて長崎都市経営戦略推進会議は「インバウンド促進にかかるまちづくり特別委員会」を設置し、別添内容を提言した。

【進捗する大型プロジェクトを活かすインバウンド対策の強化 ー要点ー】

大型プロジェクトが進捗する今、それらを長崎の地域経済活性化につなげていくため、「外貨を稼ぐ」という視点で効果が大きく効率的で、持続可能なものを中心として、観光客などの交流人口拡大につなげるインバウンド対策を講じていくことが重要である。

①アクセス充実を活かし、インバウンド客拡大のための内外マーケットに対する働きかけを行う。

②アクセス充実及び長崎におけるMICE戦略等により増加するインバウンド客を市中心部に誘導するとともに、動線を確保し、おもてなしの充実や観光支援を通じて消費拡大を図る。

この提言に基づき、次のワーキングチームを発足させ具体的活動に入る。

◇マーケット拡充WT

◇インバウンド強化への受入体制整備WT

3. 分野毎の重点推進事項

各ワーキングチーム活動を引き続き積極的に推進する。その中に次ラウンド（第2ステージ第3ラウンド）での分野毎の重点推進事項は次の通り。

- | | |
|--------------|---------|
| ○総合特区認定活動 | (基幹製造業) |
| ○インバウンド対策 | (観光) |
| ○総おもてなし運動 | (観光) |
| ○かんぼこ売上げ増強 | (水産) |
| ○留学生支援センター設置 | (大 学) |

4. 次回長崎サミット

平成25年2月1日（金）

以上

平成 24 年 6 月 18 日

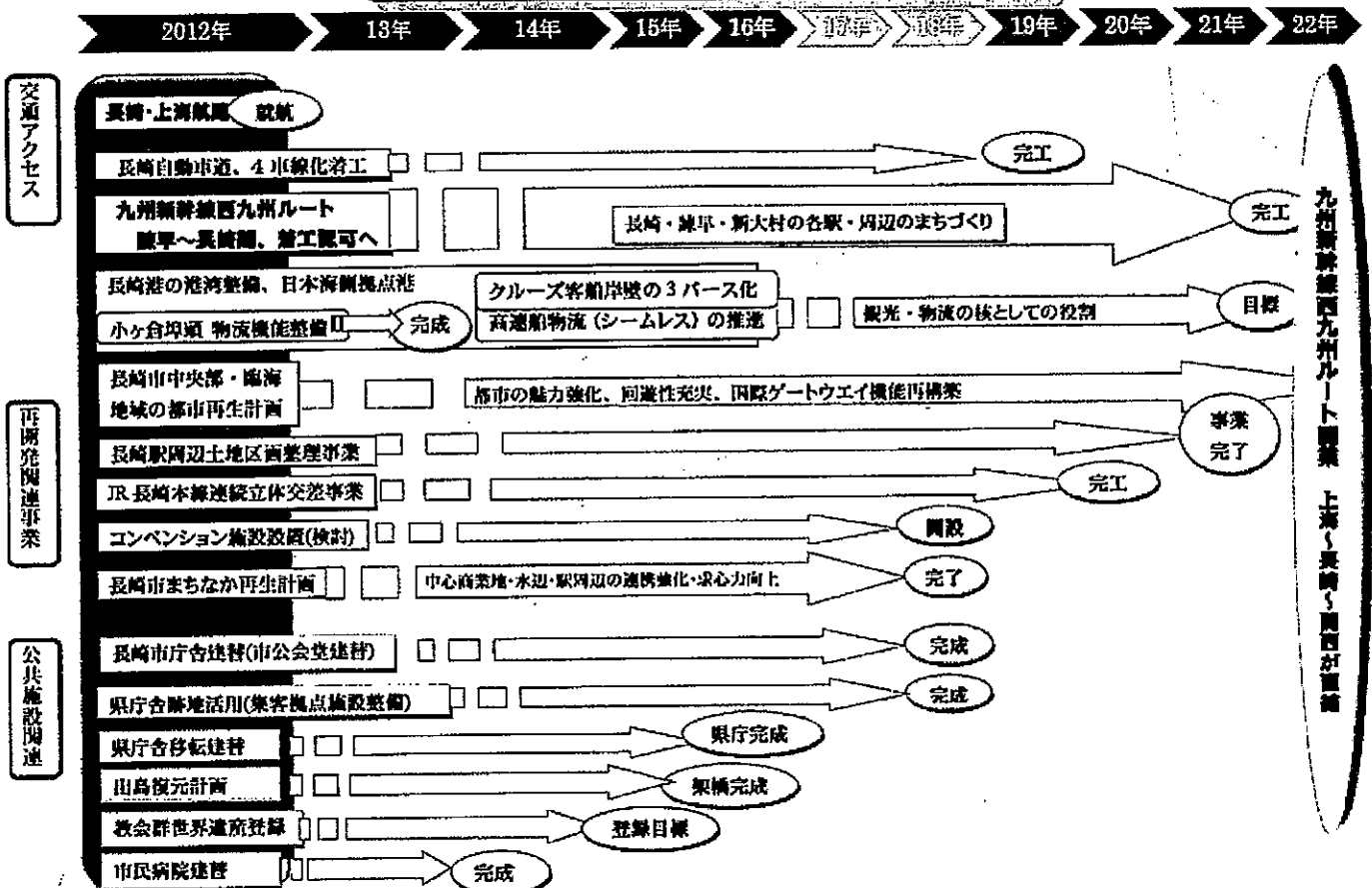
進捗する大型プロジェクトを活かすインバウンド対策の充実

長崎では、最近、いくつもの大型プロジェクトが進捗をみている。交通アクセスの面では、九州新幹線長崎ルートの特早・長崎間着工方針が決まり認可(予定)待ちの状況にあり、長崎自動車道の4車線化決定、長崎・上海航路の定期就航及びクルーズ客船の寄港増加などが進んでいる。一方、長崎市内では、県庁・市役所の建て替えや、長崎MICEセンターの設置、出島の復元・表門橋架橋、教会群世界遺産登録などに向けた取り組みが進んでおり、国体を始めとした大型イベントも予定されている。

こうした大型プロジェクトが進捗する今、それらを長崎の地域経済活性化につなげていくため、「外貨を稼ぐ」という視点で効果が大きく効率的で、持続可能なものを中心として、観光客などの交流人口拡大につなげるインバウンド対策を講じていくことが重要である。

〔* インバウンドは、他地域からの観光客などの来訪客であるが、本委員会では国内外からの交流人口を増やし消費等による経済効果を追求することとする。〕

長崎地域の経済関連基盤の整備見通し



九州新幹線西九州ルート開業 上海と長崎を結ぶ

I. インバウンド関連大型プロジェクトの絞り込み

現在、進捗している大型プロジェクトのうち、観光等交流人口拡大への効果が既に想定されており、また効果自体も大きいと思われるものは次の3つと考えられる。

- 新幹線西九州ルート
- クルーズ・長崎上海航路
- MICEセンター設置及びMICE誘致

これらの経済波及効果をみると、新幹線西九州ルートは、2022年の開業後、観光客の増加による観光消費額増加に伴い年間115億円、クルーズ・長崎上海航路については2020年代半ばに年間300隻の寄港で132億円、さらにMICEセンター設置に伴う新たなMICE誘致により85億円のそれぞれ経済波及効果が見込まれ、合計332億円の新たな需要が長崎市を中心とした県内にもたらされる。

II. 新幹線延伸、クルーズ・上海航路定着拡大、MICE拡大に向けた優先すべき対応

3つの大型プロジェクトは既に一部実現したのものから10年後の完成を目指すものであり、これらを効果的、持続的に観光等の交流人口拡大につなげるには、短期・中長期のインバウンド対策を策定し、地域を挙げて戦略的に実践していくことが重要である。また、産学官の連携はもとより、経済界が率先して取り組むことでインバウンド強化を継続的な活動として行くことが求められる。

そこで、インバウンド促進に向けた対策として、マーケットへ向けた対策と長崎地域における環境整備に取り組む。

1. 広域連携要請活動の展開・・・マーケット対策

アクセス充実を活かし、インバウンド客拡大のための関西をはじめ内外マーケットに対する働きかけを行う。


- 関西地域経済界、観光関連業者・団体等への相互協力要請

- 九州内各県の経済界、観光関連業者・団体等への相互協力要請
- 長崎県内他地域の経済界、観光関連業者・団体等への相互協力要請
- JR九州と連携したJR西日本への新幹線相互乗入れ要請
- 中国・上海等への相互交流促進、インバウンド誘致活動

2. 優先すべき環境整備

アクセス充実及び長崎における MICE 戦略等により増加するインバウンド客を市中心部に誘導するとともに、動線を確保し、おもてなしの充実や観光支援を通じて消費拡大を図る。

- ① 新幹線(長崎駅)、長崎空港・高速道路(出島道路)、松が枝埠頭の3つのルートからのインバウンド客をスムーズに長崎市中心部の観光に導くための交通アクセスの整備(交通結節点となるターミナル機能)
- ② 市内・外の観光に関する十分な情報を提供し、スムーズに送り出す総合観光情報拠点づくり
- ③ 観光客の消費活動促進につながるような回遊コースの開発・定着や宿泊につながる仕掛け作り
- ④ MICE 戦略推進のための誘致推進活動や MICE センター整備のための運営主体組成など具体化への早期着手

- 
- ① JR長崎駅、松ヶ枝、バスターミナル、空港等観光客受入れステーションから観光スポットまでや町中誘導のための**交通アクセスの整備**
 - ・受入れステーションから町中観光スポットまで
 - ・受入れステーションからオプションツアー先まで
 - ・総合交通ターミナルの整備(大型駐車場の併設)

② 観光客への観光情報提供のための**総合情報提供・発信及び県内・市内各地への誘導施設・機能の整備**

- ・県庁跡地の出島と一体となった活用
- ・総合観光案内施設設置(祭りの映像・体感、回遊コース案内、さるく対応など)及びコンセルジュ・サービス提供
- ・長崎くんち演し物の一括展示(踊り町紹介)及び県内・市内の祭り紹介と体験機能
- ・大学(留学生等)と連携した町中通訳(案内)サービス
- ・長崎事始め関連資料の集約・展示(唯一長崎のアピール)

③ 観光客の消費促進のための**回遊コースの開発・定着**(見て⇒食べて・体験して⇒買う⇒泊る)と宿泊誘導のためのスポット充実・仕掛けの充実(夜景、夜市、朝市等)

- ・消費促進のための回遊コースのスタンダード化(龍馬の一本道など)
- ・市民夜景ツアー実施、夜市・朝市の試行実施
- ・ライトアップ施設等の拡大(対象企業等への要請)
- ・水産・長崎の魅力顕在化(路面市場の充実、かんぼこ・すし・刺身等の食の集積・通りづくり)

④ **MICE 誘致活動の徹底と持続可能な MICE センターの具体化促進**

- ・各団体、各企業における会合等の長崎誘致活動展開
- ・運営事業主体組成を含めた具体化の早期着手
- ・まちなか MICE 活用への体制づくり(MICE 対応施設の登録制度等)

3. おもてなしの充実

- 挨拶・美化運動の推進(アダプトプログラムの拡充等)

4. 民間レベルの個別まちづくり活動

- まちなか空き店舗、未利用地等の活用マッチング(店舗、企業誘致を含む)
- おもてなし施設(トイレ、休憩所など)の維持管理オーナー協力
- 駐車料金の一日定額制普及協力
- タクシー運転手、商業従業員等への長崎うんちく研修実施

ゾーニング、動線のイメージ

軍艦島
高島
伊五島

三菱・長船

稲佐山

MICEセンター



新幹線による観光客

県庁

長崎駅

県庁跡地

雄島航路等

観光情報発信地
コンローラタワー
(築港拠点)

出島

海外(オーストラリア、長崎・上海航路)

松ヶ枝埠頭

水辺の森公園
出島フーズ
歴史博物館

和食
おでん
かんぼこ
土産品

刺身・すし・かんぼこ

歴史文化博物館

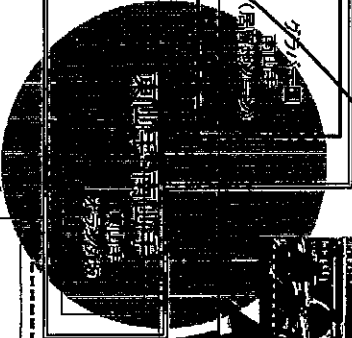
観光公社

富貴楼

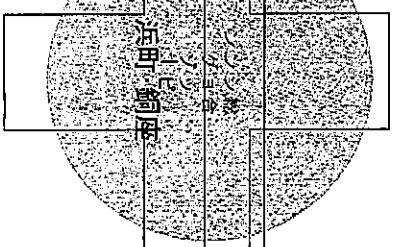
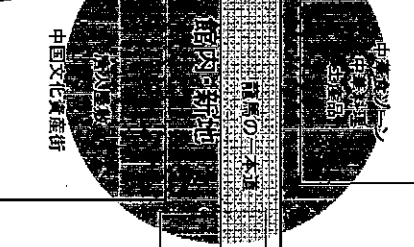
新地中華街ゾーン

浜町・鶴ヶ島等

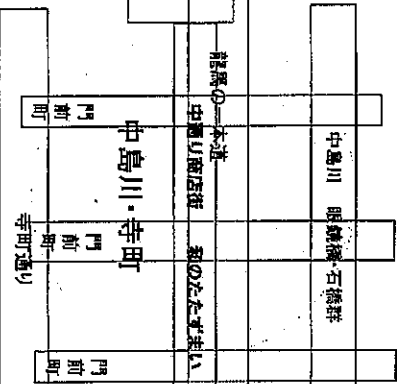
異国情緒・国際交流ゾーン



孔子廟



丸山・銅座
花月、宵御、兼海、長崎煉瓦



門前市場
整い
さ
くつるぎ
買ひ物
新大工

崇福寺

一カ

興福寺

龜山柱中

橋本

風頭公園(雷馬像)

平成 24 年 6 月吉日

各 位

長崎サミット・プロジェクト

長崎商工会議所 会頭 上田 恵三
 長崎経済同友会 代表幹事 宮脇 雅俊
 長崎県経営者協会 会長 橋本 州史
 (社)長崎青年会議所 理事長 原口 誠

長崎都市経営戦略推進会議 議長 里 隆光

「長崎都市経営戦略推進会議への資金支援協議会」
 への会員加入のお願い

謹啓 新緑の候、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、長崎サミット(長崎都市経営戦略)プロジェクトの推進につきましては、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成 22 年 7 月の長崎都市経営戦略推進会議の発足以来、地域経済の衰退に歯止めをかけるべく、基幹製造業、観光、水産、大学の 4 分野の強化を通じて平成 32 年(2020)を目標に地域経済活性化を推進する本プロジェクトも 2 年近くを経過しました。多くの方々の参画・協力を得て、アクションプラン等に基づく具体的な活性化活動を展開してきており、成果も徐々に生まれ始め(下記事例)、また産官学でのコミュニケーション・連携も深まっております。

【事例】	基幹製造業	客船建造にかかる倉庫・宿舍等の環境整備、技術人材の育成
	観 光	外国人を始めとした観光客の受入体制づくり(4カ国語観光案内版のバス・電停設置、指差し行き先マップのタクシーでの活用、清掃・挨拶活動)
	水 産	長崎かんぼこ王国設立、長崎おでんの開発・販売拡大
	大 学	優秀な留学生増加に向け、留学生支援センター設置具体化

この間、運営体制につきましては、経済 4 団体による費用負担による運営、専担事務局の設置(23 年 4 月)など、持続可能な推進体制づくりに努めて参りました。もともと、限られた財源(年間 1 千万円)での運営となっており、本プロジェクトを長期間、継続的に運営していくための安定的な基盤を確保するためには、その財政基盤を強化することが不可欠となっております。

そこで、平成 24 年 8 月より、本プロジェクトを資金面から支援する「長崎都市経営戦略推進会議への資金支援協議会」を設立し、当協議会の会員からの会費収入の全額を「長崎都市経営戦略推進会議」へ助成することといたしました。これに伴い、地域の企業の皆様方に、当協議会の会員にご加入をお願いする次第です。

当地域は引き続き人口減少、地域内総生産の縮小傾向など、極めて厳しい経済状況にあり、将来に対する危機感を共有し、環境変化への対策を講じなければ、地域の雇用、所得を維持していくことはできません。こうした危機感をもとに展開している本プロジェクト及び今回の当協議会創設の趣旨にご理解・ご賛同を賜り、是非、会員としてご協力・ご支援をお願いいたたく存じます。

ご出費多端の折から、たいへん恐縮に存じますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

謹 白

《基幹製造業の振興対策ワーキングチーム》

	氏名	所属団体	役職
1	永井 剛	長崎商工会議所 造船・機械・工業部会 部会長	座長
2	白石 幸男	長崎県経営者協会 専務理事	副座長
3	石黒 正浩	三菱重工業(株) 船舶・海洋事業本部 長崎船海管理部 次長	委員
4	元松 慶仁	長崎港活性化センター 世話人 (後藤運輸(株) 通関・保税事業部 次長)	委員
5	森上 英明	長崎港コンテナターミナル運営協会 幹事長 (日本通運(株)長崎支店 長崎事業所 海運課 課長)	委員
6	太田 勝元	長崎商工会議所 青年部 直前会長	委員
7	植田 正弘	長崎経済同友会 県内地域連携委員会 委員	委員
8	柴田 正明	長崎青年会議所 長崎経済活性化委員会 委員	委員
9	服部 一弘	長崎工業会 副会長	委員
10	山下 敬彦	長崎大学 副学長・産学官連携戦略本部長	委員
11	野間口 英一	長崎県 企画振興部 新幹線・総合交通対策課 課長	委員
12	沢水 清明	長崎県 産業労働部産業政策課 課長	委員
13	神崎 修治	長崎県 産業労働部産業振興課 参事	委員
14	山下 三郎	長崎県 産業労働部 産業人材課 課長	委員
15	中田 稔	長崎県 土木部港湾課 課長	委員
16	都々木 伸吾	長崎市 経済局商工部産業雇用政策課 課長	委員
17	田中 信行	九州運輸局 長崎運輸支局 首席海事技術専門官(船舶検査官)	委員

《基幹製造業に係わる地場企業への振興対策ワーキングチーム》

	氏名	所属団体	役職
1	西 亮	長崎工業会 会長	座長
2	小松 雄介	長崎経済同友会 まちづくり委員会 委員	副座長
3	服部 一弘	長崎工業会 副会長	委員
4	三浦 学	(協)三菱長船協力会	委員
5	久野 祐一郎	(協)三菱長船協力会	委員
6	太田 勝元	長崎商工会議所 青年部 直前会長	委員
7	長野 力	長崎商工会議所 青年部 特別事業委員会 委員長	委員
8	嶋野 武志	長崎大学 産学官連携戦略本部 副本部長・教授(人材育成部門)	委員
9	西村 宣彦	長崎大学 経済学部 准教授	委員
10	神崎 修治	長崎県 産業労働部産業振興課 参事	委員
11	都々木 伸吾	長崎市 経済局商工部産業雇用政策課 課長	委員
12	前田 哲夫	長崎県産業振興財団 センタルマネージャー	委員
13	江嶋 義成	三菱重工業(株) 長崎造船所管理部管理グループ 首席部員	委員

《観光関連先の連携強化体制の構築ワーキングチーム》

	氏名	所属団体	役職
1	前原 晃昭	長崎経済同友会 長崎都市経営推進委員会 委員	座長
2	宗 保孝	長崎商工会議所 観光コンベンション振興委員会 副委員長	副座長
3	村木 榮介	長崎国際観光コンベンション協会 副会長	委員
4	堀 清隆	長崎商工会議所 青年部 監事	委員
5	竹村 義隆	長崎商工会議所 青年部 会員拡大委員会 委員	委員
6	山口 潤	長崎青年会議所 長崎経済活性化委員会 副委員長	委員
7	須齋 正幸	長崎大学 理事・副学長	委員
8	吉田 良則	長崎県 文化観光物産局観光振興課国内企画戦略班 課長補佐	委員
9	濱口 一成	長崎市 経済局文化観光部観光政策課 課長	委員

《留学生受入体制の充実ワーキングチーム》

	氏名	所属団体	役職
1	殿村 育生	長崎商工会議所 文化教育委員会 委員長	座長
2	小川 完二	長崎経済同友会 長崎都市経営推進委員会 副委員長	副座長
3	福田 浩久	長崎商工会議所 青年部 広報委員会 副委員長	委員
4	林田 聡	長崎商工会議所 青年部 まちづくり委員会 委員長	委員
5	白石 幸男	長崎県経営者協会 専務理事	委員
6	高木 裕子	長崎青年会議所 まちづくり委員会	委員
8	須齋 正幸	長崎大学 理事(国際・危機管理担当)・副学長(グローバル人材育成担当)	委員
9	吉村 颯	長崎県 企画振興部政策企画課 課長	委員
10	天野 俊男	長崎県 企画振興部国際課 課長	委員
11	山下 三郎	長崎県 産業労働部産業人材課 課長	委員
12	柴原 慎一	長崎市 経済局文化観光部国際課 課長	委員

《産学官連携ワーキングチーム》

	氏名	所属団体	役職
1	鉄川 進	長崎経済同友会 まちづくり委員会 副委員長	座長
2	馬場 和人	長崎県経営者協会 業務部長	副座長
3	上田 良樹	長崎商工会議所 文化教育委員会 副委員長	委員
4	扇 健二	長崎商工会議所 文化教育委員会 委員	委員
5	平川 友美	長崎商工会議所 青年部 政策提言委員会 副委員長	委員
6	木村 太郎	長崎商工会議所 青年部 会員拡大委員会 委員	委員
7	本田 郷之	長崎青年会議所 長崎経済活性化委員会 委員長	委員
8	山下 敬彦	長崎大学 副学長・産学官連携戦略本部長	委員
9	横尾 啓介	長崎県 企画振興部政策企画課 広域連携・調整班 係長	委員
10	都々木 伸吾	長崎市 経済局商工部産業雇用政策課 課長	委員

《長崎地域水産練り製品ブランド化推進委員会》

	氏名	所属団体	役職
1	石橋 道康	長崎蒲鉾水産加工業協同組合 代表理事組合長	委員長
2	杉永 生悟	(有)杉永蒲鉾 代表取締役	副委員長
3	平野 幸一郎	長崎商工会議所 青年部 特別事業担当副会長	委員